

教育目標

学校では



家庭では

(今年度の約束)

(家庭へお願いする10の基本事項)

すすんで勉強する子ども

わかる  
かかわる

- 1 基礎・基本の定着と学力向上に努めます。**
  - 学習規律を徹底し、「見通し」と「振り返り」を位置付け「わかる授業」づくりに努めます。
  - 他者とのかかわり（コミュニケーション）を重視した学習活動を通し、思考力や表現力を高めます。
  - 多様な読書活動を通して、読書を楽しむ子を育てます。

- ①集中して学習できる環境を整えましょう。
- ②「家庭学習の手びき」を活用し、家庭学習の習慣化を図りましょう。
- ③連絡帳や音読カード等に目を通し励まし認めましょう。

強いからだをつくる子ども

鍛える  
判断する

- 2 新しい学校生活様式の定着に努めます。**
  - 「早寝 早起き 朝ごはん」の習慣化に努めます。
  - 感染症予防を徹底し、安全・安心な環境づくりに努めます。
- 3 体力づくりを推進します。**
  - マラソンやなわとびの体育活動に目標を持たせて取り組みチャレンジ精神を養い心と体を鍛えます。
- 4 健康についての意識向上に努めます。**
  - 食指導、歯科指導（就寝前の歯磨き）を充実させます。
  - ゲーム障害・スマホ依存の依存症の予防等の啓発に努め、自分で使用をコントロールする力を身に付けさせます。

- ④「早寝 早起き 朝ごはん」で生活のリズムを整えましょう。
- ⑤休日には子どもと一緒に運動する時間をもちましょう。
- ⑥ゲーム・スマホ等の使い方について「我が家のルール」を定着させましょう。

根気よく働く子ども

やりぬく  
尽くす

- 5 進んで働く子の育成に努めます。**
  - 委員会活動や縦割りの班活動を通して自己有用感を高め、自己肯定感の向上につなげます。
  - なかよし班清掃で主体的に掃除をする子を増やします。

- ⑦家族の一員として、仕事に主体的に取り組ませましょう。

なかよく心やさしい子ども

認める  
支える

- 6 明るく丁寧な挨拶と返事の習慣化に努めます。**
  - 誰にでも明るく丁寧な挨拶ができる子を育てます。
- 7 思いやりの心を育てます。**
  - 相手を思いやる言葉（「ありがとう」「がんばってるね」等の（スマイル言葉）の定着で、他者と望ましくかかわる、信頼と承認の気持ちを高めます。
- 8 心の教育の充実に努めます。**
  - 自己肯定感・規範意識・郷土を愛する心を育てる教育活動の充実に努めます。

- ⑧大人が家庭や地域で明るく丁寧に挨拶する姿を見せましょう。
- ⑨当たり前のことでも言葉にして伝えましょう。  
「～してくれてありがとう。」  
「～してくれてうれしいよ。」  
「～してくれてたすかったよ。」
- ⑩子どもの話を共感的に受け止めプロセス（努力・過程・試行錯誤した手順）をほめましょう。

向上に向けて

地域が求める力

保護者が求める力

規範意識  
伝統文化の尊重

コミュニケーション能力  
主体性

チャレンジ精神  
自己肯定感